

情報毎の入手条件等が整理されたカタログのイメージ 【資料3】

情報内容	提供期間	提供範囲	保有者	情報の在り処	交換手法	データの形式	サンプルデータ
A	常時	制限なし	A協会	URL など	通信 手順 など	テキスト orバイナ リ、デー タフォー マットな ど	システム 構築に必 要となる サンプル データを 公開
B	発災後1 か月間	指定公共 機関まで	B社				
C	発災後1 か月間	被災自治 体まで	C事業団				
D	発災後2 か月間	中央省庁 限り	D法人				

主なカタログ記載事項として、

提供期間:いつからいつまで、若しくは常時

提供範囲:①中央省庁限り、②被災自治体(地方公共団体)まで、③指定公共機関まで、④制限なし

在り処:情報保管サーバーのURLなど

交換手法:ニーズ側がgetするのか、保有側にputされるのかなど

データ形式:データフォーマットは必ず公開、併せてサンプルデータも公開。(事前のシステム構築を可能とする)

この他、情報の対象地域、更新頻度、問い合わせ先などを項目として追加の予定

今年度の成果として、情報の在り処や共有・利活用に係る条件などを整理して共有する